

（前略）

I had a day-dream to found a Christian college.

（中略）

My humble idea of founding a university is
to educate the coming race in higher studies,
being influenced by Christian light and
Christian conscience. （後略）

299 [To] [JD, L&L] [Oiso] [January 5, 1890]

新島襄全集 第6巻 366頁以下 宛先不明英文書簡
L&L Hardy's *Life and Letters of Joseph Hardy Neesima*
JD Davis's *A Sketch of the Life of Rev. Joseph Hardy Neesima*

I have a dream. キング牧師 (Martin Luther King Jr.) は人種差別に対して、信仰を基にしてこの戦いに敢然と挑み、「私の4人の小さな子どもたちが皮膚の色によってではなく、人格の中身によって評価される国に住むことができる」という夢、人間の尊厳を大切にする社会という夢を非暴力、不服従によって実現した。

I had a day-dream. 新島襄は「キリストという福音の光と良心に満たされた人材を育むために学校を設立する」という壮大な白日夢を見て、新島自身とその同志たちと共に築いた。同志社の良心教育はキリストの恩恵と救いの業に裏打ちされている。キリストの虜になった2人の「夢想家」たちは共に孤独な挑戦を試みた。新島は「誰も励ましの言葉をかけてくれる人もなく」学校設立の端緒を開き、その願いは「全く望みのないことを望んでいるように思われた」とこの書簡で告白している。しかし、同時に、彼らは決して挫けることなく夢を内に秘めて祈っていた。2人は「神がご自身のみ名のために私たちに力を与えて下さる」という確信を持っていたのだ。それは「アメリカの友人たちが惜しげもなく申し出てくれた寄付、同志社の核」となっている。

同志社という奇跡とも思える教育事業は「信仰の業」であることを改めて堅く確かめつつ歩みを進めて行きたいものだ。